

2. かくれているものはないかな?

まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

①かくれている虫は、どこ？

今見たものを、もう一度見直そう・・・・・・・・・・5

②この形に見覚えは？

かくれてないのに、気づけない・・・・・・・・・・7

③かくれたパターンがあらわれる

「気づきやすさ」には癖がある・・・・・・・・・・9

④何のトリックもない顔写真

印象もひっくり返る・・・・・・・・・・11

⑤1 つだけ違うのは、どれ？

一瞬で見つけるコツがある・・・・・・・・・・13

⑥ただの縞模様？

離れた方が見えてくるものも・・・・・・・・・・15

⑦長い歯ブラシはどちら？

途中がないと、つなげられない・・・・・・・・・・17

⑧正しいアーチはどっち？

間違った情報の方が通用することも・・・・・・・・19

⑨ぎくしゃくして見える！？

特徴をかくされると正体がゆがむ・・・・・・・・21



⑩散らばったカケラは何？

かくした方が見えてくる [1]・・・・・・・・・・23

⑪赤い紙の上に黄色い立体

かくした方が見えてくる [2]・・・・・・・・・・25

⑫一部だと思つと、大きく見える

かくしているふりをするだけで・・・・・・・・27

⑬第一印象は人によって違う

一方が見えると他方がかくれる [1]・・・・・・・・29

⑭別の見方に気づく訓練を

一方が見えると他方がかくれる [2]・・・・・・・・31

⑮たった1文字の読み方が・・・

前後の流れにつられてかくれる・・・・・・・・33

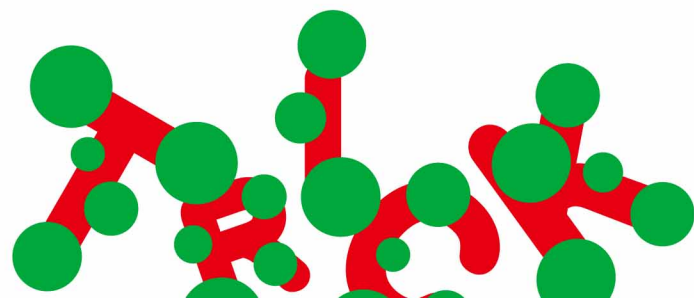
⑯ちょうど良い大きさ

大きいほど目立つとは限らない・・・・・・・・35

⑰部分が集まって、全体になる

世界はこうしてできている・・・・・・・・37

あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・39



「答えはひとつじゃない！想像力スイッチ」の第2巻では、かくれたものをさがしだす問題をたくさん解いてもらいます。問題に取りくんでいくと、かくし方にはいろいろなコツがあることがわかります。

たとえば、かくすものの向きを変えてしまっただけで、まったく見つからなくなってしまうことがあります。たとえ大部分が見えていたとしても、重要な部分だけがかくれているだけで、見つけるのは難^{むずか}しくなるでしょう。

さがし方も重要です。まずは、何かがかくれているに違^{ちが}いがないと気がつく必要があります。そこには何も無いと思^こい込んでしまうと、たとえ目の前にあっても見つけられなくなります。その一方で、何もかくれていないのに、そこにあるに違^{ちが}いがないと思^こい込むだけで目の前のものの見え方が変わってしまうこともあります。

本書で紹介した図形^{かぎ}に限らず、わたしたちが世の中で目や耳にする情報では、そのいちばん重要な部分がいつでも目の前にあるわけではありません。より大事な情報やメッセージ、あるいは意味^{こうみよう}が巧妙にかくされていることも多いのです。ですから、いつでも自分の頭の中にある想像力のスイッチをオンにしておき、注意深く情報に向かい合ってみましょう。意外な真実が見つかるかもしれません。

竹内龍人

① かくれている虫は、どこ？

今見たものを、もう一度見直そう

木の枝を写したものです。虫に食べられたような葉っぱがありますね。この写真をじっくりと見てください。何かがひそんでいませんか？



全部見えてるとは限らない。^{かき}



●^{ぎたい}擬態という名の^{ごしんじゅつ}護身術。

虫に食べられたように見えた葉っぱが、コノハムシという名前の虫でした。

植物の葉に似た姿で、周囲から身をかかしているのです。

このように同じような情報の中に別の情報がかくされていることがあります。

昆虫などがまわりのものに似せて姿をかかす方法を^{ぎたい}擬態と言います。



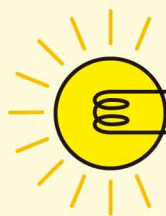
コノハムシ

下の写真も、枝のように見えますが、よく見るとカマキリがいるのがわかりますか？



コノハカマキリ

さあ、これからいろいろな情報のかくれ方を見ていきましょう！



② この形に見覚えは？

かくれてないのに、気づけない

不思議な形が^{えが}描かれています、この絵が何かわかりますか？

あなたも、見たことがあるはずですが・・・。



かくれているものが見つからない人は、矢印の方向が真上になるように、この本を回して見てみましょう。

